

文部科学大臣表彰受賞決定

～令和4年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）～

子供が積極的に読書を行い、意欲を高めるような特色ある優れた読書活動を行っている学校・図書館・団体（個人）に対し、その実績をたたえるため、この度、標記表彰が行われます。

この表彰は、平成13年12月施行の「子どもの読書活動の推進に関する法律」を受け、平成14年度から文部科学省が実施しているものです。

令和4年度（2022年度）に受賞する本県関係の学校・図書館・団体（個人）は、下記のとおりです。

記

1 受賞した学校・図書館・団体（個人）

（1）学校

- ・合志市立西合志南小学校（児童数891人）
- ・熊本県立人吉高等学校（生徒数699人）
- ・熊本県立大津支援学校（児童生徒数163人）

（2）図書館

- ・菊池市立図書館

（3）優秀実践団体（個人）

- ・しすいっ子童話会

※詳細は別添資料を御参照ください。

2 表彰式

令和4年（2022年）4月23日（土）13時

3 報道解禁日

令和4年（2022年）3月31日（木）14時

問合せ先

熊本県教育庁市町村教育局社会教育課

家庭教育支援班 担当 米良

（内線 6724）

TEL：096-333-2697

こうしりつにしごうしみなみしょうがっこう
合志市立西合志南小学校

受賞理由

学校、地域、PTAが協力した取組を継続して実施している。児童の図書館利用率や本の貸し出し数の増加が顕著に見られる。

主な取組内容

- 地域人材による読み聞かせや司書及びゲストティーチャーを招いての授業を実施（平成17年度～）
- 公共図書館や地域との連携を図り、地域の文化や遺跡などの調べ学習を促進
- 個人貸出し冊数の把握や月ごとの多読者を表彰するなど、図書貸出を促す取組を実施
- リモートによる読み聞かせ、合志市マンガミュージアムとの連携（令和3年度）

受賞理由

学校全体の取組として、学校図書館の活用や生徒の読書意欲の喚起等を積極的に行う体制整備がなされている。

主な取組内容

○全校一斉の朝読書の充実

○学校ホームページを活用した図書館利用の促進

①図書館の利用に関する情報を発信

②地域へ図書館開放を実施

○生徒による図書委員会活動の活性化と自主的な読書の促進

①図書館だより「れんが館倶楽部」の発行

②展示コーナーの設置（年中行事、学術的書籍等）

受賞理由

児童生徒の読書活動推進に取り組むため、学校教育活動に学校図書館の積極的活用を図っている。

主な取組内容

- 大津町読書ボランティア「ひまわに会」による読み聞かせや大津町立おおづ図書館の「移動図書館」の利用など外部機関との連携
- 特設展示コーナーの設置
学校行事や季節に応じた自然科学等に関する書籍を随時リニューアルして展示
- 図書室だよりの発行やホームページによる特設コーナーの紹介など、読書活動推進のための啓発活動

受賞理由

地方の子どもたちにも都市部と変わらない情報や教育資料の提供、さらには多様な体験を通して、子どもたちの可能性を広げられるよう、読書活動推進や学校・地域との連携に取り組んでいる。

主な取組内容

- 中高生による読み聞かせや図書館の出前授業
- 学校図書館と市立図書館連携のシステム導入
- 読み聞かせボランティアとの「合同読み聞かせイベント」の開催
- 学校との連携（図書館見学や休館日の活用）
- 多言語、多文化理解のための取組
- 児童生徒の郷土学習の資料作成の支援
- 学校図書館のバックアップ（図書館司書の派遣）

こどうわかい しすいっ子童話会

受賞理由

平成5年より活動を始め、地域に根付いた活動として「たとえ参加者が一人でも」を合言葉に、多くの子供たちに読書の楽しみを伝え続けている。

主な取組内容

- 定期的におはなし会を実施
- ブックスタートの実施
- 市内小中学校や就学前施設での読み聞かせ
- 生涯学習大会での寸劇発表やふるさと祭りでのミュージカル発表
- 地域の偉人「増田敬太郎」の紙芝居作成と佐賀県唐津市での発表